

第3回 二輪車のナンバープレートの様式の見直し及び
希望ナンバー制導入に係るワーキンググループ
議事概要

1. 開催日：令和5年12月20日（水）
2. 場 所：中央合同庁舎3号館8階 特別会議室
3. 出席者：浅井委員、岡安委員、北添委員、小松委員、高井委員、玉虫委員、
藤村委員 ※五十音順
4. 議事（概要）

- (1) ワーキンググループの構成員の追加について、委員の了承を得た。
- (2) 二輪車の希望ナンバー制の需要や価格帯等について把握するための需要調査の結果及びその結果を参考にした頒布料金の試算結果について説明があり、議論した。
- (3) 希望ナンバー制を導入した場合に人気集中することが予想される番号と、現在四輪自動車で行われている抽選方法について説明があり、これを踏まえ、抽選対象とする番号を設けることについて議論した。特に希望が集中すると考えられる番号は、抽選の結果に基づき払出を行うこととし、その対象とする番号の選定については、国土交通省に一任することとなった。

（委員からの主な意見）

- 小型二輪と軽二輪の頒布料金は、現在同額だが、小型二輪のナンバープレートは緑枠がある分工程が多い。製造コストを踏まえ、頒布料金に差を設けられればよい。
- 小型二輪と軽二輪で差を付けるのであれば、しっかりその根拠をユーザーに説明する必要がある。
- 抽選対象番号とそれ以外の番号の料金に差を設けることについて、需要調査の結果は74%が差を設けてもよいと回答しており、その方向で検討を進めてよいのではないか。
- 一連番号は連続の番号を製造することで効率化等を図っており、希望番号と混在しないようにするためにも、二輪車でも分類番号によるすみ分けが必要だと考える。

以上